



『QCサークル』誌 2026年10月号 見どころ、読みどころ

★トップからのメッセージ

表2～

日立建機株式会社 代表執行役 執行役社長兼取締役 COO 先崎 正文さん

日立建機では、2022年を「第2の創業」の始まりと位置づけ、さまざまな変革を進めています。その中で大切にされているのが、全員参加の小集団活動。先崎社長は、土浦工場での活動を原点に、活動の裾野を国内外へ広げてきた歩みを振り返ります。さらに、Challenge・Customer・Communicationの「3つのC」からなるKenkijinスピリットを軸に、組織の垣根を越えた活動への期待も語っていただきました。新たなステージを目指す日立建機の小集団活動への思いに迫ります。

★ザ・ショット 写真で綴る QC サークル紀行

p.3～

㈱小松製作所 郡山工場

コマツでは、「品質と信頼性を追求する」取組みの1つとして、また人材育成の場としてQCサークル活動を全社的に推進しています。郡山工場でも本社の方針に沿って、社内QC教育や推進者・サークルリーダー教育を実施。QC検定の受検も積極的に推奨し、全従業員の半数余りが3級以上に合格しています。また、工場内のQC大会に加え、「オールコマツQC大会」や東北支部・福島地区の発表会など、社内外で活動成果を発表・交流する機会も大切にしています。今回は、その中から「何事にもチャレンジしよう！」を合言葉に、塗装不具合の撲滅に挑んだサークルの活動を紹介します。

★特集：我らの陰の“ヒーロー”を紹介します！

p.9～

QCサークル活動で成果を上げるまでには、メンバーの頑張りだけでなく、活動を陰で支えてくれる人たちの存在があります。若手に声をかけ、データに基づく改善を導いたベテラン、リーダー不在の中で地道な活動を支えたテマリーダー、メンバーの技能を引き出した上司、活動しやすい環境を整えた推進者など、今回の特集では、さまざまな場面で活躍した6人の「陰の“ヒーロー”」を紹介します。あなたの職場にもいるかもしれない、目立たないけれど欠かせない存在。その支え方から、QCサークル活動を活性化するヒントを探ります。

★活動支援のページ：リーダー・サークルに寄り添う支援の工夫 ～QCサークル活動をより楽しく進めるために～

p.24～

第10回 方策案を実現させるための問題や障害を排除し、成功シナリオを具体化しよう！

せっかく方策を決めても、実行してみると想定外の問題が起こり、計画どおりに進まない。そんな経験はありませんか？今回は、新QC七つ道具の1つ「PDPC法」を活用し、起こりうる問題や障害をあらかじめ想定して、対応策を盛り込んだ「成功シナリオ」の作り方を紹介します。題材は、身近な「みんなで青空のもとBBQを成功させる」。メンバー全員でさまざまな可能性を考え、問題を未然に防ぐ準備や、発生時の対応を計画に組み込むことで、目的への道筋を明確にし、確実な実行につなげる方法を楽しく学びます。

★ルポ 第3回 事務・販売・サービス〔含む医療・福祉〕部門 QCサークル（小集団改善活動）グランドチャンピオン大会開催

P.30～

2026年6月12日に開催された「第3回事務・販売・サービス〔含む医療・福祉〕部門QCサークルグランドチャンピオン大会」。全国の各支部から推薦された18サークルが、それぞれの職場で取り組んだ改善成果を発表しました。今回の大会では、AIや各種アプリ、Power Automate・Power BIなど、デジタル技術を活用した事例が多数登場。鮮魚の製造ばらつき低減、禁煙支援アプリの開発、改善提案の転記ムダ撲滅など、JHS部門ならではの多彩なテーマにも注目です。受賞サークルの活動を中心に、大会の熱気と新たなQCサークル活動の広がりを紹介します。

★体験事例&ワンポイント事例

今月は、体験事例3件を紹介します。

体験事例：p.32～

1. 株式会社豊田自動織機 トヨタL&Fカンパニー 高浜工場「F4サークル」
「～『運営力』の継承！次期リーダーへの道しるべ～フレーム溶接ラインにおける着座異常の撲滅」
2. ㈱ブリヂストン 久留米工場「なんでも研究所サークル」
「困り事改善、タンク内清掃作業の過去を断つ！～ひと泡吹かせますバブルスター～」
3. トヨタ自動車㈱ トヨタ記念病院 「ブルーセレクトサークル」
「残業ゼロへの戦い ～意識を変えろ～」

★私たちの活動を紹介します！〈JHS（含む医療・福祉）部門編〉

P.46～

社会福祉法人江東園 江東園つばき保育園「TSUBAKI」

事業所内保育所で働く4人のサークル「TSUBAKI」。日々の保育業務に追われ、行事計画書の提出が期限に間に合わないという問題に着目しました。そこで、業務に集中できる環境を整えるとともに、職員同士で声をかけ合い「ノンコンタクトタイム」を確保。期限内提出率を

22.7%から 87.5%へと大幅に向上させました。役職や年齢、得意分野の違いを生かして協力しながら、初めての QC サークル活動に挑戦したメンバー。活動を通じた一人ひとりの成長と働きやすい職場づくりへの思いにも注目です。

★QC検定道場

P.48～

第 10 回 品質経営の要素：小集団活動，管理図

「QC 検定道場」では、品質管理検定（QC 検定）3 級の合格をめざし、レベル表にしたがって過去問題と解答、解説を紹介します。今月は、QC 検定 3 級の過去問題から、「小集団活動」および「管理図」について重要な問題を詳しく解説します。

★連載講座：職場で使える心理学～ QC サークル活動を、考え・工夫し・成長する活動とするために～

p.54～

第 4 回 解決志向で全員参加の強いチームをつくる

若手リーダーがベテランメンバーを巻き込めず、サークル活動が停滞してしまう。そんな「人と人との関係性」に関する困りごとに、心理学の「解決志向（SFA）」が力を発揮します。原因を追究して責め合うのではなく、メンバー全員で「ありたい姿」を描き、そこへ向かう

「はじめの一步」を考えることで、対立していた若手とベテランが同じ方向を向いた保全サークルの事例を紹介。解決志向と課題達成型 QC ストーリーの共通点を紐解きながら、全員参加の強いサークルづくりのヒントをお伝えします。

☆『QC サークル』誌に貴社の広告を掲載しませんか？

会社や自社製品の PR の場として、ぜひご検討ください！

詳細はホームページをご覧ください。

+++++ 本件に関するお問合せ ++++++

一般財団法人 日本科学技術連盟 『QC サークル』誌編集

TEL：03-5378-9817 E-mail: : editoqcc@juse.or.jp

